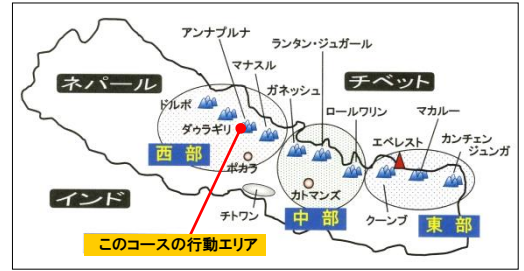


| ツアーNo | 発着地 | レベル | 宿泊 | 高度障害の影響 | 高所対応機器 | 最少催行 |
|-------|-----|------|-----|---------|--------|------|
| 2012 | ご相談 | B(A) | ロッジ | あり | ご相談 | ご相談 |

朝日に映えるアンナプルナ山群東面、5416mの峠を越える

アンナプルナ東面眺望 トロン・パス越え12日間

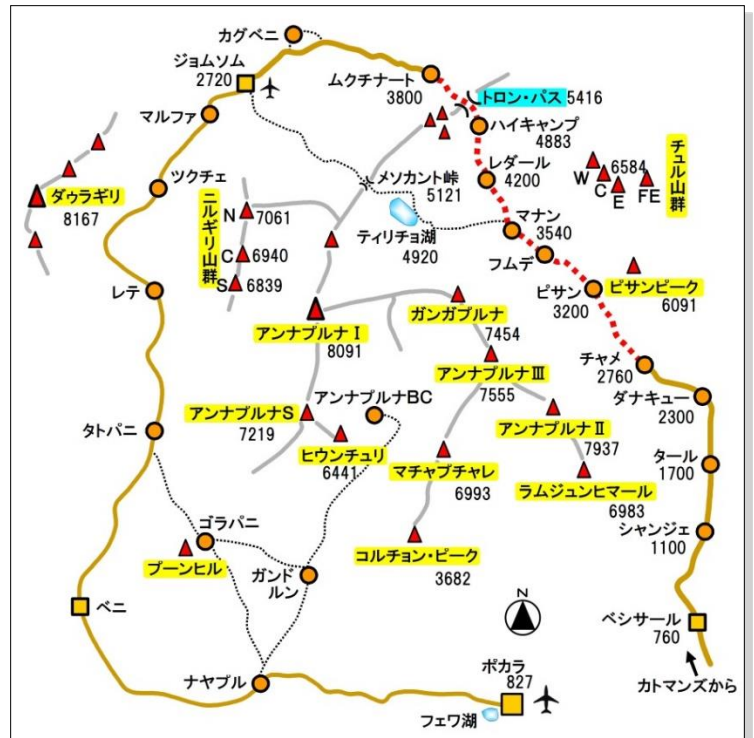


チャームまで車を利用出来るようになった。アンナプルナII・III・IV峰、マナスル、ガンガプルナ、ピサン、チュル・・・マルシャンディ河に沿って少しずつ標高を上げ次々と広がる眺望を楽しむ。峠越えに4日をかけ高度障害に備える安全設定。トロン・パス(5416m)越えるとダウラギリの眺望も加わる。ムクチナートからは車を利用し下山する。ヒンズーの文化圏からチベット文化圏へと巡るプラン。



| 日 | 旅程 (日数の赤字はトレッキング行動日) | 食事 |
|----|--|-----------|
| 1 | 日本 → アジア都市乗継 → カトマンズ | (ホテル) 一機機 |
| 2 | カトマンズ ⇄ ベシサル 760m (約7h) | (ロッジ) ホ昼夕 |
| 3 | ベシサル ⇄ チャーム 2760m (約6h) | (ロッジ) 朝昼夕 |
| 4 | チャーム ⇄ ピサン下村 3200m (約7h) | (ロッジ) 朝昼夕 |
| 5 | ピサン下村 ⇄ マナン 3540m (約6h) | (ロッジ) 朝昼夕 |
| 6 | 高度順応と休養日 マナン滞在 | (ロッジ) 朝昼夕 |
| 7 | マナン ⇄ ヤク・カルカ 4018m (約5h) | (ロッジ) 朝昼夕 |
| 8 | ヤク・カルカ ⇄ ハイキャンプ(HC)4883m (約6h) | (ロッジ) 朝昼夕 |
| 9 | HC ⇄ トロン・パス 5416m ⇄ ムクチナート 3800m (約9h) | (ロッジ) 朝昼夕 |
| 10 | ムクチナート ⇄ ジョムソム 2720m → 又は ⇄ ポカラ | (ホテル) 朝昼中 |
| 11 | ポカラ → カトマンズ 深夜 カトマンズ発 → | (機中泊) ホ×ベ |
| 12 | → 午前 アジア都市で乗継 → 午後 日本各地着 | 機機一 |

該当なし 機内食 なし(自弁) ホテル 朝昼夕 ロッジの食事
 中華料理 ベトナム料理



参考条件 (一部)

- ◇発着空港: 成田・羽田・中部・関空 (他空港発はご相談) ◇トレッキング: ロッジ泊9泊10日 ロッジの食事
- ◇食事: 朝10回、昼8回、夕10回 (機内食は除く) ◇行動範囲標高: 760m~5,416m 高度障害の影響があります
- ◇最高宿泊標高: 4,883m (ハイキャンプ)
- ◇ツアーレベル: **B** 一般から中級コース 標高が4kmを越す行程を含む場合があり、コースの宿泊、山道の状況はAに準ずるが、一日の高低差の大きい日が含まれる。ツアー期間の長いものもあるので、日本で小屋泊、2~3泊程度の山行経験が望ましい

プランの取扱について

お客様のご希望に沿って企画、見積、現地手配を行う受注型企画プラン(手配ツアー)の取扱となります。ここに掲載の内容はご検討用のモデルプランです。お気軽にご相談下さい。

| ツアー適期 | | 代金の目安 |
|---------|---------------|----------------------|
| 2019(秋) | 10月初旬~11月中旬出発 | (3名様以上の催行) 40万円~43万円 |
| 2020(春) | 3月中旬~5月中旬出発 | (1~2名様催行) お問い合わせ下さい |